身近な危険物の注意点 ①静電気に気をつけよう!

ガソリンなど身近な危険物を安全に取り扱うときには、まず、静電気に注意しましょう。

ガソリンスタンドでの「つい・うっかり」は危険行為

セルフスタンドの給油設備には、必ずこうした「静電気除去シート」の表示があります。皆さんは給油の前にしっかりとここに触れてますか？

もし、静電気除去シートに「うっかり」触れないまま給油しようとすると、静電気が原因で火災が起きる可能性があります。
このような火災は、ドライバーの衣服や人体にたまった静電気による火花が、給油口から出てきたガソリンの蒸気に引火することで発生します。
どうすれば、こうした事故を防ぐことができるのでしょうか。

守ろう!ガソリンスタンドでの静電気対策

衣服や人体には静電気がたまっているため、その状態のままで給油するのは危険です。でも、正しい手順で給油を行えば、静電気を安全に除去することができます。

セルフスタンドに限らず、ガソリンなどの危険物を取り扱う際は、静電気に注意してください。

セルフスタンドでの静電気除去の手順

①クルマから降りてドアを閉める際、車体の金属部分に触れる。

②静電気除去シートにしっかり触れる。

③給油口カバーの金属部分に触れて、給油キャップを開ける。

④給油ノズルを握り給油口の奥に差し込む。
ノズルホースには静電気を逃がす仕組みが施されています。ノズルからホースへアース線が通っており、体にたまった静電気を給油設備から地面へと流す機能を備えています。